

9月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
日本なし類		9,913	85	12,195	310	97	252	-	0.0	栃木、福島、茨城、千葉産中心の入荷となる。品種は幸水、豊水など。関東産は、春先の凍霜害の影響で入荷量は前年より大幅に少なくなる。福島は概ね生育順調で、ほぼ前年並みの入荷となる。全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値となった前年をやや下回るものの平年より高くなる見込み。
りんご類		4,875	96	6,181	290	91	239	737	15.1	青森、長野、山形産中心の入荷となる。品種はつがる中心。青森は9月5日頃から出荷予定で、ピークは中旬となる。着果、果実肥大とも順調。長野は干ばつの影響でやや小玉傾向となっており、出荷ピークは8月末～9月上旬となる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回るものの平年より高くなる見込み。
ぶどう類		4,659	95	3,795	644	110	649	627	13.5	山梨、長野、山形産中心の入荷となる。品種は巨峰、ピオーネなど。山梨は果実肥大が良好で3L中心の大房となっている。長野も全体的に大房傾向で、出荷ピークは9月中旬頃からとなる。全体の入荷量は豊作だった前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。
もも		2,216	103	1,764	386	95	397	434	19.6	福島、山形、長野産が中心となる。福島は肥大良好で、ゆうぞらは9月上旬に出荷ピークとなる。長野は川中島が10日過ぎまでで、晩生品種も25日頃に終了となる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。
メロン類		1,350	100	1,548	369	103	370	70	5.2	北海道、茨城、静岡、山形産が中心となる。品種はアールスメロンなど。北海道は8月下旬～9月中旬まで潤沢な入荷となる。茨城、静岡は品質良好で、前年並みの入荷となる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。
すいか類		1,379	100	1,287	193	103	173	231	16.8	長野産が中心となる。長野は果実肥大良好で、4L中心の入荷となる。9月上旬頃から入荷量が減少し、9月20日頃には終了となる。全体の入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。
すもも		382	105	291	473	95	465	103	27.0	長野、山形、山梨産が中心となる。長野は太陽、秋姫中心となり、太陽は半作、秋姫は前年並みとなる見込み。山形の秋姫は9月10日過ぎから始まり、出荷ピークは15～20日頃となる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。